

(地方公共団体名)の 概要・特徴等

日本海の島根半島沖合約60Kmに浮かぶ隠岐諸島の中の一つ中ノ島を「海士町」といい1島1町の小さな島。(面積33.46km²、周囲89.1km)
御食つ國(みけつくに)と呼ばれ、対馬暖流の影響を受けた豊かな海と、名水百選(天川の水)に選ばれた豊富な湧水に恵まれ、自給自足のできる半農半漁の島。
【人口】約2,200人【世帯数】約1,200世帯【高齢化率】約40%

解決したい地域課題

【目指す姿】 官民連携・デジタル利活用によるスマートアイランド化

課題分野:①スマートアイランド、②行政DX、③医療・介護・福祉、④教育、⑤移住・定住・関係人口、⑥危険家屋対策、⑦エネルギー、⑧防災、⑨FTTH維持

上記の中でも特に、人口減少・人材不足に伴う下記3つの課題が大きいと考えます。

【課題①】 島内における持続的な医療・介護体制

慢性的な医療・介護専門職の不足のため、持続的な医療・介護体制の構築に課題を感じています。限られたリソースの中で、島内外の医療・介護従事者間連携やオンライン診療等の仕組みが重要と考えており、その体制構築が課題です。

【課題②】 行政における業務効率化と他課連携の仕組みづくり

行政職員が減少する中、複数の課題を解決するためには、今まで以上に業務効率化や他課との連携を促進する必要があると考えています。そのための仕組みづくりが課題です。

【課題③】 移住・定住者の確保、高齢化対策

一時期増加傾向にあった島内移住者数の頭打ちや高齢化に伴う働き手・働き場所の不足(特に漁業を中心とした1次産業)により、定住者の減少が見込まれます。その中で、島の魅力を効果的に発信し定住者を増やす対策や高齢化の進む1次産業で産業や産業人口を保つための対策が課題です。

解決したい地域課題

【補足情報】

平成28年度から海士町創生総合戦略・人口ビジョン「海士チャレンジプラン」に基づき、「意志ある未来」を実現するため、5年間積極的に取り組んできました。現在は第2期海士町創生総合戦略の初年度を迎えており、本年度からはこの新たな計画に基づき取り組みを進めています。しかしながら、地域課題は主な課題だけでも、上記①～⑨が挙げられ、これらを限られた職員と財政という現状を鑑みて、島外との関係人口を強化しながら新たな知見を取り入れていく必要があります。官民連携により、各種情報通信技術(ICT)や各種データを利活用することで、地域課題を解決するとともに、スマートアイランド化し、Society5.0社会の実現を目指したいと考えています。

ソリューション提案に対するアピールポイント

行政組織がコンパクトであり、役場内の組織横断的な体制作りや、町内外の産官学公民等のステークホルダーとの連携が容易です。そのため、マッチング後の実証等の実施がスムーズに行えます。